

週 報



「笑門来福」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588

会長 山口秀一

ロータリー財団月間

第 3227 回例会	No.19	2019. 11. 27	曇り
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「それでこそロータリー」	
四 つ の テ ス ト	石崎智則 君		
ゲ ス ト	永野建設(株)代表取締役社長 永野伸弥 氏		
例 会 行 事	ゲスト卓話		

会長時間

20 年で世界は変わった。10 の劇的な変化

世界の人口は爆発的に増加。1998 年、世界の人口は 59 億人、60 億の大台に乗る直前だった。そして、翌年に 60 億人を超えた。20 年たった今、世界の人口は 76 億人に達したと推計されている。

都市部に住む人は増える一方。都市の人口にも大きな変化が起きている。世界銀行によると、20 年前、都市部に住んでいたのは、世界の人口の半分以下のみ。しかし、その割合は 2007 年には 50%を超え、今では世界の人口の 55%が都市で生活している。その数は 2050 年までに最大 66%に達する可能性がある。すでに危機的状況に追い込まれている都市にさらなる負担がかかると見られている。

建物は、想像を超えた高さに、1998 年、マレーシアのツインタワーの高さ 1483 フィート 452 メートルを記録し、世界で最も高いビルとなった。それ以降、世界各地で超高層ビルの数は爆発的に増えおり、高さは増すばかり。現在、世界一の記録を持つのは、マレーシアのツインタワーよりも 1000 フィート (300m) 以上高い、ドバイのブルジュ・ハリファ。マレーシアのツインタワーの記録は、今では世界 15 位にまで落ちてしまった。

インターネットはありとあらゆる面で、私たちの生活を変えてしまった。1998 年、携帯電話はまだ珍しく、自動運転車は夢の話で、インターネットは普及し始めたところだった。今、インターネットのない世界を想像するのは難しい。しかし、20 年前は違った。ピュー・リサーチ・センターによると、現在、アメリカの成人の 89%がインターネットを利用しているが、1998 年は、わずか 41%。ちなみに、グーグルが誕生したのも 1998 年、今とは少し違ったデザインだった。ソーシャルメディアが台頭し、覇権を握った。ソーシャルメディアは、インターネットを利用したサービスの中で最大級の影響力を持つ。その中で最も人気のある Facebook は、現在アメリカ人の 3 分の 2 以上が使っている。3 年後、ソーシャルメディアのユーザーは、全世界で 30 億人を超えると予想されている。

携帯電話は実質、必需品で、ほぼ全員が持っている。現在、アメリカにおける携帯電話の所有率は 1998 年の 60%未満から大きく伸びて、過去最高の 95%。また、アメリカ人の 77%がスマートフォンを所有している。スマートフォンは電話をただの連絡手段から、ポケットサイズの本格的な PC へと変身させた。アメリカ同時多発テロ事件は、アメリカ社会に深刻な影響をおよぼした。

自動運転車が現実に。テスラ、GM、フォード、ウーバー、グーグル、アップルといった企業がそれぞれ、独自に自動運転車を開発しており、すでに世界各地の大都市で走行実験を行っている。

気候変動が恐ろしい現実になりつつある。気候に関する記録は異常なペースで更新されており、過去 4 年間の平均気温は観測史上、最も高かった。また平均気温だけでなく、月間の平均気温が観測史上、最も高い月もここ数年でいくつか観測された。

数々の社会問題が注目を集めている。「ブラック・ライブズ・マター（黒人の命もまた大切）」などの団体は、刑事司法制度に存在する不平等を浮き彫りにした。そして、2017年に始まった「#MeToo」ムーブメントは、日々のあらゆる場面でセクハラや性的虐待を受けてきた女性にスポットライトを当てた。また、LGBTの権利擁護者が権利拡大や法的保護を求めて活動してきた結果、2015年、アメリカ連邦最高裁判所は同性婚を全50州で合法化した。

スマイル

- 宮田真一郎君 母の葬儀の際は、大変お忙しい中、御参列頂き誠に有難うございました。また、過分なお心遣いを頂き心よりお礼申し上げます。
- 入中英雄君 最近、新車には手が届かず、中古車ですが車を購入しましたのでスマイルします。
- 豊田裕康君 二週続けて欠席しました。すいませんでした。
- 小玉 淳君 母の七回忌で、京都に行ってきました。

例会行事

ゲスト卓話 永野建設(株)代表取締役社長 永野伸弥 氏



本日のゲスト卓話は、永野建設(株)代表取締役社長 永野伸弥氏に、「我々大人にできること」～寄り添うことのすすめ～というテーマで卓話をして頂きました。

学生に何かを伝えるときに、どういうふうにお話をするか、学生たちにお話をする時はほとんどの子が硬い表情で話を聞いているそうです。そして居眠りをしだすそうです。話を身近に感じさせるには、そして眠らせないようにするには、まず相手との距離を短くして、話の中にキャラクターなどを入れキーワードを活用した戦術でお話をして、こっちの方から寄り添っていくことが大切だそうです。そして、話を面白そうと思わせ、興味を持たせ、話に興味深くなるように話をするそうです。又、正確な情報を伝えることも大事な要素で、データを分かりやすく、比較できるようにすることも大切なことだそうです。データを用いて、学生たちに説得力を持たせることが大切と言う事です。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
11月20日	35	5	30	20	7	3	27	90%
出席免除	村上、渡邊、古澤、土屋、清水							
先取MU	小玉、豊田、日高、宮田、鬼束、菊池、榎木田							
欠席	阿部、峰松、桑村							

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	35	5	30	23	4	3	27	90%
出席免除	村上、渡邊、古澤、土屋、清水							
先取MU	井野畑、黒岩、永田、菊池							
欠席	齋藤(奈)、日高、峰松、							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：山口秀一 副会長：村岡俊宏 幹事：入中英雄 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。